

**東海大学医学部附属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等
を使用し、下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

Prognostic significance of CD56 and CD20 expression in patients with multiple myeloma
多発性骨髄腫における予後因子としてのCD56とCD20の臨床的意義

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、多発性骨髄腫患者さんの病状、治療内容および治療成績を明らかにすることを目的とした臨床研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

2009年9月1日 から 2019年11月30日 までの間に、
当院の血液腫瘍内科で多発性骨髄腫と診断・治療を受けた患者さんを対象としています。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2020年10月11日 まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

- ・診療情報等：多発性骨髄腫に関連した症状、検査結果、治療内容、治療効果、副作用

【情報の提供先・提供方法】

上記の試料・診療情報等をまとめ、第82回日本血液学会学術集会で発表します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- ・研究代表機関：東海大学医学部血液腫瘍内科
- ・研究代表者：血液腫瘍内科 鈴木利貴央

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2230）

研究責任者／問い合わせ担当者 血液腫瘍内科 鈴木 利貴央